

2025年版

社会活動レポート

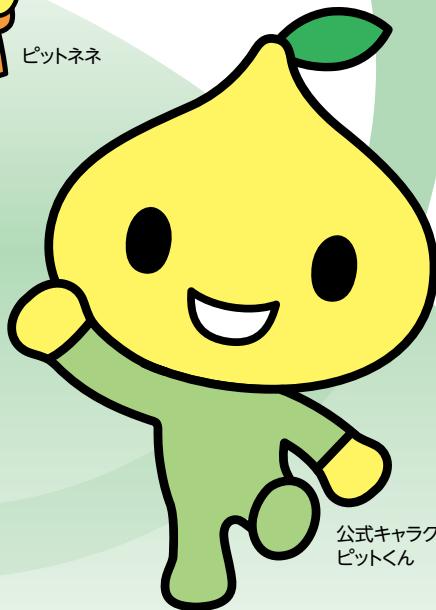
～SDGs達成に向けて～

2024年度のご報告

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり



ピットネネ



公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ



たすけあいの輪をむすび 豊かで安心できる社会づくりに向けて

日頃より、こくみん共済 coop の事業と運動に、ご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当会では、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けて、「こくみん共済 coop SDGs行動宣言」のもと、「共済を通じた安心の提供」「環境保全の取り組み」「子どもの健全育成の取り組み」「防災・減災の取り組み」「共創による社会づくり」「魅力ある組織づくり」に取り組んでいます。

1954年12月に大阪の地でスタートした火災共済事業は、2024年12月に70周年を迎えました。あらためて当会の事業の原点を見つめなおし、さまざまな関係者の方々と連携して、「暮らし」「地域」「未来」を守る取り組みを進めてきました。特に、2024年1月に発生した令和6年能登半島地震、同年9月に発生した奥能登豪雨による被害に対して、住まいの共済のお見積もりにより復旧・復興支援を行う「みんなで被災地応援プロジェクト」を通じて、継続的な支援活動を行っています。

災害からの復旧・復興は、まだまだ道半ばですが、今後も頻発する災害に向き合いながら、組合員の皆さまの暮らしと地域を守る活動に取り組んでまいります。

今日私たちを取り巻く環境は、自然災害の多発化・大規模化に加えて、物価の高騰、少子高齢社会の進展や格差の拡大など、厳しさを増しています。

そうしたなか、国連はSDGsに貢献している協同組合の社会的役割と価値を評価し、その認知向上と振興のために、2025年を「国際協同組合年」に定めました。人々の暮らしに困難がみられるこのようなときこそ、持続可能な社会づくりにむけて、協同組合への期待が高まりを見せています。

当会は、これからも社会の変化に向き合い、新たな挑戦を重ねながら、暮らしと地域社会の安心を支える存在として社会課題の解決に取り組んでまいります。

本レポートをおよして、地域に根ざした「たすけあいの輪」をむすぶ取り組みについて、皆さんにご理解を深めていただければ幸いです。

2025年7月

こくみん共済 coop 代表理事 理事長

打越 秋一

こくみん共済 coop (組合員) SDGs行動宣言

当会は、創立以来、組合員・協力団体・労働組合組織・協同組合組織などの仲間とともに、共済の普及と社会課題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を進めてきました。これは、誰一人取り残さない社会づくりをめざす、SDGsに通じるものです。格差の拡大や大規模自然災害の増加など、取り巻く環境が厳しさと難しさを増すなか、たすけあいの輪をむすぶ私たちの役割と期待をあらためて認識し、SDGsの達成に貢献します。

みんなでたすけあい、 豊かで安心できる 社会づくり



1

共済を通じた 安心の提供

より良い共済・サービスの提供と、一人一人に応じた生活保障設計を通じて、組合員と家族の安心を提供します。



2

環境保全の 取り組み

気候変動を抑制し、豊かな環境を守るために、省資源・省エネルギーに取り組みます。また、環境保護への支援を強化します。



3

子どもの健全育成 の取り組み

子育て支援、交通事故抑制、健康増進の取り組みにより、貧困の連鎖に歯止めをかけ、子どもの健全な育成を進めます。



4

防災・減災の 取り組み

台風や地震など大規模災害の発生から、組合員を守るため、防災・減災の普及と社会インフラづくりを進めます。



5

共創による 社会づくり

人々が暮らし働く地域社会に根ざし、たすけあいの輪をむすび、誰もが活躍できる社会づくりを進めます。



6

魅力ある組織づくり

環境変化に積極的に挑戦し、あたらしい協同の仕組みを創造する魅力ある組織づくりを進めます。



SDGsについて

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals／SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれた17の目標です。貧困・飢餓・気候変動など人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能」な世界を実現するために、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。

たすけあいの輪が「地域」と 「未来」をつなぐ一歩になる

組合員や地域、さまざまな団体の皆さまと共に全国で地域に貢献する社会活動に取り組みました。全国の主な活動をご紹介します。



環境保全の取り組み



防災・減災の取り組み



子どもの健全育成の取り組み



その他の取り組み

北海道・東北

〈北海道〉

- + みんなのウェルネスふえすたinおたるへの防災・減災ブース出展

〈青森〉

- ☺ 親子向け食育絵本の読み聞かせの実施
- + 児童への防災イベントの実施

〈岩手〉

- ☺ 自治体への横断旗寄贈
- ☺ 学童へのなわとび・長なわ寄贈

〈宮城〉

- + 東日本大震災防災林保全活動
- + 子育てイベントへの防災・減災ブース出展

〈秋田〉

- ☺ 子育てイベントへの防災・減災ブース出展
- + 2024 AKITA 防災キャンプフェスへの防災・減災ブース出展

〈山形〉

- ☺ 幼稚園での交通安全教室の実施と横断旗の寄贈
- + はたらく仲間の文化まつりへの防災・減災ブース出展

〈福島〉

- ☺ 子ども食堂との子どもの健全育成イベントの開催
- + ふくしまSDGs未来博への防災・減災ブース出展

〈新潟〉

- + 創立70周年記念防災・減災イベントの開催
- + 協同組合まつりへの防災・減災ブース出展

青森／児童への防災イベントの実施



福島／子ども食堂との子どもの健全育成イベントの開催

茨城／小学校、教育委員会への横断旗寄贈

関東

〈茨城〉

- ☺ 小学校、教育委員会への横断旗寄贈
- + 防災・減災イベントの開催

〈栃木〉

- + 2024 とちぎコープフェスタinうつのみやへの防災・減災ブース出展
- ◆ 古本回収による地域交流活性化を目的とした団体への支援活動

〈群馬〉

- + 防災・減災セミナーの開催

〈埼玉〉

- ☺ マイカー共済加入件数に応じた交通遺児援護金への寄付

〈千葉〉

- + 防災・減災イベントの開催

〈東京〉

- + 交流フェスタ2024への防災・減災ブース出展
- ◆ 日本赤十字社への支援活動

〈神奈川〉

- + 防災紙芝居の実施
- ◆ フードバンクかながわへの支援活動

〈山梨〉

- + 連合山梨メーダーへの防災・減災ブース出展
- ◆ フードバンク山梨への支援活動

中部

〈長野〉

- ☺ 小学校への横断旗寄贈
- ◆ 介護施設への未使用タオルの寄贈

〈静岡〉

- ▲ 国際協働組合年記念植樹の保全活動
- ◆ フードバンクふじのくにへの支援活動

〈富山〉

- ☺ ロケット教室の開催
- ◆ フードバンクとやまへの支援活動

〈石川〉

- + 石川県総合防災訓練への防災・減災ブース出展
- + みんなの防災+ソナエへの防災・減災ブース出展

〈福井〉

- ▲ 第27回海岸クリーンアップへの参加
- + 防災・減災フェア2024の開催

〈愛知〉

- + コープ、生協でのぼうさいカフェ出展
- + 県内各地での出前防災講座や防災体験の出展

〈岐阜〉

- ▲ 飛騨高山古い町並み周辺の清掃
- ☺ 県内小学校343校への横断旗寄贈

〈三重〉

- ☺ 福祉フェスティバルでの安全運転啓発活動
- ☺ 教育委員会へのなわとび・長なわ寄贈



長野／小学校への横断旗寄贈

関西



奈良／こくみん共済カップ
奈良県サッカー大会の開催

〈滋賀〉

- ☺ 県立図書館への児童図書寄贈
- ⊕ コープしがでの防災・減災セミナー実施

〈奈良〉

- ☺ こくみん共済カップ奈良県サッカー大会の開催
- ⊕ 広陵町防災士ネットワークへの防災・減災ブース出展

〈京都〉

- ☺ 自治体へのなわとび・横断旗寄贈
- ◆ 盲導犬協会への寄付

〈大阪〉

- ▲ 大和川・石川清掃活動への参加
- ⊕ 生活クラブ生協フェスタへの防災・減災ブース出展

〈和歌山〉

- ⊕ 生協まつりでの安全運転啓発活動と防災・減災ブース出展
- ◆ 労働者福祉まつりでの安全運転啓発活動

〈兵庫〉

- ⊕ ひょうご安全の日のつどいへの防災・減災ブース出展
- ⊕ コープこうべ防災フェスティバルへの参加

中四王

〈島根〉

- ⊕ 「地SUN地SHOW祭り」への防災・減災ブース出展

〈鳥取〉

- ⊕ 鳥取市立川町防災避難訓練への防災・減災ブース出展
- ⊕ 鳥取県消費者大会での防災啓発セミナー実施

〈岡山〉

- ⊕ 小学校での防災・減災授業の実施
- ⊕ くらしき防災フェアでのぼうさいカフェ出展

〈広島〉

- ▲ 労金森の学校フェスティバルの開催
- ☺ ランドセルカバーの寄贈

〈山口〉

- ☺ 保育園へのなわとび・長なわ寄贈
- ⊕ 防災・減災フェスの開催

〈徳島〉

- ⊕ とくしま生協フェスティバルへの防災・減災ブースの出展
- ⊕ とくしまキッズ防災ラボ2024の開催

〈香川〉

- ☺ さぬき市教育委員会への横断旗寄贈
- ⊕ 東讃地区労福協ぼうさい教室の開催

〈愛媛〉

- ☺ 幼稚園での横断旗寄贈と交通安全教室の実施
- ⊕ 生協まつりへの防災・減災ブース出展

〈高知〉

- ☺ 協同組合フェスタへの防災・減災ブース出展
- ☺ 自治体への横断旗寄贈



岡山／くらしき防災フェア
でのぼうさいカフェ出展



広島／ランドセル
カバーの寄贈

九州

〈福岡〉

- ⊕ 福岡県総合防災訓練でのぼうさいカフェ出展
- ◆ つながるひろがるなかまの輪プロジェクトの実施

〈佐賀〉

- ⊕ 名村造船所工場見学会への防災・減災ブース出展
- ◆ フードバンクさがへ支援活動

〈長崎〉

- ☺ こくみん共済 coop 杯少年サッカー長崎県大会の開催
- ⊕ 福祉まつりでのぼうさいカフェ出展



佐賀／名村造船所工場見学会
への防災・減災ブース出展



長崎／こくみん共済 coop 杯
少年サッカー長崎県大会の開催

〈熊本〉

- ☺ 水俣市役所教育委員会へのなわとび・長なわ寄贈
- ⊕ 生協まつりへの防災・減災ブース出展

〈大分〉

- ☺ TOSはじめてばこフェスでの絵本の読み聞かせの実施
- ◆ フードバンクおおいたへの支援活動

〈宮崎〉

- ☺ 子どものことを考える地域ミーティングの開催

〈鹿児島〉

- ⊕ 鹿児島防災シンポジウムでのぼうさいカフェ出展

〈沖縄〉

- ☺ ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金の実施
- ⊕ 旭橋でのぼうさいカフェ出展

特集

被災地支援の取り組み

2024年(令和6年)1月に発生した能登半島地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。地震による家屋の倒壊や火災、津波、地盤隆起、液状化に加え同年9月の奥能登豪雨による土砂災害や浸水被害が重なり、地域の生活基盤に深刻な影響を及ぼしました。現在も、被災地では復旧・復興に向けた取り組みが続けられています。

住まいの共済を通じて被災地の復興につなげる



～あなたの災害時の安心が被災地の大きな力につながる!～

被災された組合員に共済金をお届けすることにとどまらず、寄付を通じて速やかな被災地の復旧・復興支援に関わり、安心・安全な地域社会づくりを進めていきます。

今後も活動の状況等について発信しながら、被災地への継続的な支援と平時からの災害への備えを促進していきます。

▶本プロジェクトの仕組図



「住まいの共済」のお見積もり1件につき100円を当会より拠出し被災地で復旧支援活動を行うボランティア(支援)団体に対して寄付するプロジェクトです。(お見積もりいただいた方に寄付金をご負担いただくものではありません)

※「CO・OP火災共済」、「ろうきんローン専用住まいの共済」は、新しくご契約いただいた件数をお見積もり件数としています。

▶寄付・助成先

●日本赤十字社

●全国社会福祉協議会



●NPO団体(被害の大きかった能登半島で活動する10団体)

NPO法人みんなの畑の会

NPO法人ワンネススクール

かなざわっ子nikoniko倶楽部

フードバンクジャパン七尾

三道山子ども食堂

北陸学院大学よりそいの花プロジェクト

こまつ子ども食堂

カリタスのとサポートセンター

特殊支援部隊 山ん

かなざわオープンキッチン

寄付先団体における復旧支援の取り組みについて

被災地に集うさまざまな団体と連携し 強みに合わせた災害支援をサポート

日本赤十字社

日本赤十字社では、研修を受けた災害コーディネーターが最初に現地入りし、日本赤十字社以外の支援団体(ボランティア団体や社会福祉協議会等)と連携して、ニーズやそれぞれの強みを活かした支援を行えるよう、コーディネートの役割を担っています。

能登半島地震では、避難所まで来ることのできないご高齢者への巡回診療や、仮設住宅住まいの方とのおしゃべりによる心のケアなど、切れ目がない支援活動を展開しました。

被災地では復興が進む一方で、「被災地を想ってほしい。忘れないでほしい」という声が多く寄せられています。

こうした被災者・被災地の声について、継続的に発信していくことが重要と考えます。これからも被災地のさまざまな支援にむけて、「住まいる共済」のお見積もりをしてくださった組合員の皆さまの願いを込めて活動を続けていきます。



石川県立輪島高等学校にてミーティングする大阪府支部救護班(大阪赤十字病院)



日本赤十字社 ファンドレイジング課
課長
津村 慎太郎(つむら しんたろう)氏

地域に寄り添い、行政や多様なボランティアと連携し、 被災地の早期復興を支援

全国社会福祉協議会

災害時には、全国すべての市区町村にある社会福祉協議会が中心になり、行政や多様なボランティア団体と一緒に被災地の早期復興の支援をしています。ボランティアが安心・安全に活動でき、同時に被災者の方々が早期に立ち上がりれるよう下支えをしています。能登半島地震では11ヶ月にわたり、全国から延べ1万3,000人の職員を災害ボランティアセンターに派遣しました。地域団体や民間企業などとも手を取り合い、運送・炊き出し・住居修繕等、その場・その時に求められる支援を行ってきました。

復興支援は、被災者の方が避難所に行けば終わり、仮設住宅に入れば終わりでは決してありません。時間をかけて顔の見える関係を築きながら、多様な問題を解決していくことが重要です。2025年に災害対策基本法等の一部改正により、福祉サービスの提供が災害給付であると位置づけられ、ますます私たちの役割が大きくなっているものと考えます。頂戴したたすけあい精神の寄付を活用し、よりよい支援を行えるよう努力を重ねていきます。



令和6年能登半島地震被災地での活動の様子



社会福祉法人 全国社会福祉協議会
副会長
古都 賢一(ふるいち けんいち)氏

避難者を孤立させない 地域ネットワーク活動に活用

NPO団体「こまつ子ども食堂」

2024年1月の能登半島地震発災直後、私たちは石川県内の約70カ所の子ども食堂と連携し、現地のニーズや支援の可否を迅速に調査しました。

SNSを活用して全国に物資の呼びかけを行い、現地では炊き出しや避難所に届く物資の整理・分配など、日々支援活動を続けました。

発災から1年半が経過し、被災地の状況は変化しています。現在の課題は、地域住民の孤立です。避難所の閉所により、自宅や仮設住宅での個別生活が始まりましたが、広域避難者も多かつたことから、周囲に知り合いがない方もいらっしゃいます。避難所では助け合って生活できていましたが、今は一人で生活しなければならない状況です。そのため、そういった孤立している方々に少しでも会いに行って話をしたり、炊き出しで人が集まる場を設けるなど、コミュニティづくりに取り組んでいます。

こくみん共済 coop のご支援は、大変ありがとうございます。社会全体の復興ムードが落ち着いても、被災地の復興はまだ道半ばです。ぜひ能登に足を運び、現状を広めさせていただきたいです。復興には時間がかかることを多くの方に知っていただき、能登を忘れないでいただけることを願っています。



こまつ子ども食堂
代表
日野 史(ひの ふみ)氏



防災・減災の取り組み



住まいの保障(火災共済)から事業を開始した当会が、災害対応の中で得た教訓と経験をもとに、さらなる防災・減災の普及とネットワークづくりを進めるため、2021年3月より「これからの防災・減災プロジェクト」を展開しています。防災士資格を有する職員が、もしもの保障(共済)による備えだけでなく、その前(被害の抑制)と後(復旧・復興支援、生活再建)の備えを、自助・共助・公助の観点から促進しています。



徳島／とくしま生協フェスティバルへの防災・減災ブース出展

Pick up!

防災士による活動



こくみん共済 coop では、地域における防災・減災運動の担い手として、職員の防災士資格取得を促進し、2024年度末までに966名が防災士資格を取得しました。防災士は各地で安心のネットワークの核となるため活動を展開しています。



島根／地SUN地SHOW祭りへの防災・減災ブース出展



熊本／春日フェア(防災の日イベント)へのブース出展



東京(本部)／渋谷防災キャラバンへの防災・減災ブース出展

防災士とは…

防災に対する知識や技能を持つ人に付与される資格です。「自助」「共助」「協働」を原則として、災害への備えや対応、減災や地域防災力向上のための活動を行っています。

防災・減災の取り組み

もしもプロジェクト

もしも大地震が起きたなら

もしも首都直下地震が起きたら、帰宅困難者は約500万人、食糧は3,400万食が不足するという被害予測があります。「もしもプロジェクト」は、一人一人が「もしも」の日のために何ができるかを考え、備えることで、レジリエントなまちづくりをめざす取り組みです。2024年度もさまざまな企業、団体と連携し、「もしもFES」を大阪市と名古屋市で開催しました。家族で楽しみながら「もしも」の備えを体験できるブース出展やステージイベントを開催する中で、防災・減災の啓発活動を行いました。※「もしもFES渋谷」は台風のため中止



もしもFES大阪2024のステージの様子



もしもFES名古屋2025のステージの様子



全国の防災・減災イベント

日頃の備えで自分の身を守り、被害を小さくすることを目的に、防災・減災の知識を普及するイベントを全国各地で開催しました。

親子で災害を疑似体験できるブース出展や、気軽に楽しみながら学び実践できる防災工作など、さまざまな取り組みを実施しています。



活動名称、活動内容	
北海道	みんなのウェルネスふえすinおたるへの防災・減災ブース出展
青森	労働団体を対象とした防災学習会の実施 児童への防災イベントの実施
宮城	子育てイベントへの防災・減災ブース出展
秋田	2024 AKITA 防災キャンプフェスへの防災・減災ブース出展
山形	はたらく仲間の文化まつりへの防災・減災ブース出展 蔵王防災フェスティバル2024への防災・減災ブース出展
福島	ふくしまSDGs未来博への防災・減災ブース出展 福島中央メーダーへの防災・減災ブース出展
新潟	県内各地での防災・減災イベント、ブース出展(3回開催)
茨城	防災・減災イベントの開催
栃木	2024とちぎコープフェスタinうつのみやへの防災・減災ブース出展
群馬	防災・減災セミナーの開催
千葉	防災・減災イベントの開催 労働者自主福祉シンポジウムでの防災・減災セミナー実施
東京	交流フェスタ2024への防災・減災ブース出展
神奈川	防災紙芝居の実施
山梨	連合山梨メーダーへの防災・減災ブース出展
石川	石川県総合防災訓練への防災・減災ブース出展
福井	みんなの防災+ソナエへの防災・減災ブース出展
愛知	コープ、生協でのぼうさいカフェ出展 県内各地での出前防災講座や防災体験の出展(72回開催)
岐阜	労福協での防災・減災セミナー実施
滋賀	コープしがでの防災・減災セミナー実施(2回開催)

活動名称、活動内容	
奈良	県内各地での防災・減災講話への講師派遣や防災・減災ブース出展(4回開催)
京都	京都生協ファンミーティングでの防災・減災ブース出展
大阪	府内各地での防災・減災ブース出展(8回開催)
和歌山	生協まつりでの防災・減災ブース出展 労働者福祉まつりでの防災・減災ブース出展
兵庫	ひょうご安全の日のつどいへの防災・減災ブース出展 コープこうべ防災フェスティバルへの参加
島根	地SUN地SHOW祭りへの防災・減災ブース出展
鳥取	県内各地での防災・減災セミナーへの講師派遣や防災・減災ブース出展(6回開催)
岡山	県内各地での防災・減災学習会やぼうさいカフェの実施(8回開催)
山口	防災・減災フェスの開催
徳島	県内各地での防災・減災イベントの開催や防災・減災ブース出展(3回開催)
香川	県内各地での防災・減災ブース出展(3回開催)
愛媛	生協まつりへの防災・減災ブース出展 連合愛媛2025いきいきフェスティバルでのぼうさいカフェの実施
高知	県内各地での防災・減災ブース出展(3回開催)
福岡	福岡県総合防災訓練でのぼうさいカフェ出展
佐賀	県内各地での防災・減災ブース出展(3回開催)
長崎	県内各地でのぼうさいカフェの実施(3回開催)
熊本	生協まつりへの防災・減災ブース出展 春日フェア(防災の日イベント)への防災・減災ブース出展
大分	県内各地でのぼうさいカフェの実施(3回開催)
鹿児島	鹿児島防災シンポジウムでのぼうさいカフェ出展
沖縄	旭橋でのぼうさいカフェ出展 糸満市総合防災訓練でのぼうさいカフェの実施

※東京(本部) 渋谷防災キャラバンへの防災・減災ブース出展(5回開催)



環境保全の取り組み



pick up!

社会貢献付 エコ住宅専用 住まいの共済による寄付

環境活動団体へ 総額2,500万円を寄付

「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいの共済」は、環境に優しい住宅の普及と、環境活動団体への寄付などにより、組合員の皆さまとともに社会に貢献することを目的に実施しています。

2024年度は、3団体（10ページ参照）に総額2,500万円を寄付しました。

今後も組合員の皆さま、そして寄付選定団体とともに環境保全に貢献してまいります。

※エコ住宅とは「太陽光発電システム」等、地球環境に優しい当会所定の設備を使用している住宅をいいます。

「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいの共済」
による寄付の仕組み



□〈WEBサイト〉エコ住宅にお住まいの方へ <https://www.zenrosai.coop/kyousai/kasai/shikumi/eco.html>



環境保全 の取り組み

2024年度の寄付先・ 主な環境保全活動



▶ 公益社団法人 国土緑化推進機構

国内外における森林整備・緑化推進の市民活動に幅広く活用されています。

当会は東日本大震災で被災した海岸防災林(宮城県・岩沼地区)の再生活動を実施しています。同機構・組合員・協力団体の皆さまのご協力により、合計1,600本(0.32ha)のクロマツ苗を植樹し、継続的に間伐・育樹に取り組んでいます。



中学生による間伐材搬出と利活用(神奈川)



「災害復旧支援・東日本大震災森と海を結ぶ・絆の森林づくり(宮城)

▶ 公益財団法人 日本環境協会

全国で2,300クラブ・10万人の子どもたちが自主的な環境保全活動をする「こどもエコクラブ」に対するサポートの充実や、事業の普及などに活用されています。

環境の視点から、子どもたちが主体的に「防災・減災」について考える「みんなでBosai×Eco CAMP」を継続的に展開しました。



こどもエコクラブ
全国フェスティバル



みんなでBosai×Eco CAMPに取り組む様子

▶ 公益財団法人 日本自然保護協会

子どもを対象とした自然観察会、減少する砂浜の課題解決に向けた活動や、絶滅危惧種・地域の自然の保護や守り手育成などに活用されています。



保育園児を対象にした
自然観察会



海や砂浜の学習活動

全国各地で取り組む環境保全活動

全国各地で環境保全などの活動に取り組んでいます。



宮城／東日本大震災防災林保全活動



佐賀／県内一斉ふるさと美化活動



福岡／コープの森環境保全活動への参加



子どもの健全育成 の取り組み



「Pick up! 7才の交通安全プロジェクト」



未来ある子どもたちを交通事故から守りたい

小学生になり行動範囲が広がる7才児は、歩行中の交通事故による死傷者数が突出して多いことから、子どもたちを交通事故から守る取り組みを進めています。

具体的な取り組み・コンテンツ

- 横断旗の寄贈
- 交通安全ハザードマップの公開
- 「こども見守り活動の日」の制定



<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj.html>



▶ 横断旗340,962本を寄贈

未来ある子どもたちを交通事故から守るために、2020年6月からマイカー共済のお見積もり1件につき、1本の横断旗を全国の小学校や児童館などに寄贈しています。2024年度はコープ共済連会員生協におけるお見積もりも含め、全国の小学校などに340,962本の横断旗を寄贈し、これまでの寄贈本数は累計155万本以上となりました。



沖縄／横断旗の寄贈



愛媛／交通安全教室

子どもの健全育成の取り組み

子どもの成長応援プロジェクト

子どもたちの健やかな成長を応援し、たすけあいの気持ちを未来につなぐため、2020年1月にスタートしたプロジェクトです。「子どもの体力の低下」といった社会課題に対し、子どもたちの健やかな成長を応援し、たすけあいの気持ちを次の世代につないでいく取り組みを行っています。



<https://www.zenrosai.coop/anshin/kenko>



岩手／なわとび・長なわ寄贈

▶ なわとび・長なわの寄贈

「こくみん共済 こども保障タイプ」のご加入1件につき1本のなわとび・長なわを全国の児童館などに寄贈しています。2024年度は全国の児童館などへ18,498本を寄贈し、これまでの寄贈本数は累計27万本以上となりました。



鳥取／なわとび・長なわ寄贈



静岡／なわとび・長なわ寄贈



高知／なわとび・長なわ寄贈



文化フェスティバルの開催

「未来を担う子どもたちとご家族に、良質な文化芸術に触れ豊かな心を育んでいただきたい」との願いから、1992年より「文化フェスティバル」を継続的に開催しています。2024年度は、演劇、ダンスなどを上演しました。



「文化フェスティバル2024夏／第52回 夏休み 児童・青少年演劇フェスティバル」



「文化フェスティバル2025／音楽の絵本2025 ダブルクインテット」



新潟公演／
「オズの魔法使い」

こくみん共済 coop 文化フェスティバル 2024年夏

- ・第52回「夏休み 児童・青少年演劇フェスティバル」
- ・CHAiroiPLIN おどるシェイクスピア 「PLAY!!!! ~夏の夜の夢~」
- ・「音楽の絵本 AMIGO」

こくみん共済 coop 文化フェスティバル 2025年

- ・ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ
- ・ミュージカル「ナミヤ雑貨店の奇蹟」
- ・福島県大熊町立 学び舎 ゆめの森「きおくの森」
- ・G-Rockets25周年記念公演 「アクロバットダンス・サーカス」
- ・親子のためのクラシックコンサート 「音楽の絵本2025 ダブルクインテット」
- ・劇団ホチキス「妻らない極道たち」
- ・ハンドルズ×コンドルズ 2nd STEP 「Walk This Way」

こくみん共済 coop 文化フェスティバル 全国公演

- ・新潟公演「オズの魔法使い」
- ・鳥取・島根公演 「かいけつゾロリ まほうつかいのでし」
- ・岐阜公演「音楽の絵本」
- ・沖縄公演 「かいけつゾロリ まほうつかいのでし」



さまざまな支援の取り組み



pick up!

地域貢献助成



安心のネットワークを広げる

「人と人がささえあい、安心して暮らせる未来へ」をテーマに「防災・減災」「環境保全」「子どもの健全育成」の3分野で活動するNPO法人や市民団体など51団体に総額19,972,283円を助成しました。本助成は、環境問題などに取り組む団体への支援を目的として1992年にスタートし、2024年度で33回目を迎えました。

地域で活動する皆さんとともに、安心のネットワークを広げてまいります。



石川／笑顔のこども食堂ネットワーク -GOHAN- お弁当配布の様子



秋田／特定非営利活動法人おのばホタル会 環境保全活動の様子



茨城／古河こりりんプレーパーク イベントの様子

さまざまな支援の取り組み

2024年度 地域貢献助成対象団体一覧

防災・減災活動

東京	ご近所 de BOSAI	兵庫	被災支援ボランティア団体 「おたがいさまプロジェクト」
神奈川	そなえるネットワークみうら		
静岡	西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会	岡山	日本身体表現学協会
	特定非営利活動法人 積志かがやきカフェ	宮崎	宮崎県わけもん防災ネットワーク
和歌山	サークル「もぐもぐ」	沖縄	一般社団法人 やんばるビジョン

環境保全活動

北海道	間伐ボランティア 札幌ウッディーズ
秋田	特定非営利活動法人 おのばホタル会
群馬	特定非営利活動法人 エコ・ボランティア
兵庫	明石おさかな普及協議会
愛媛	くぼの里山保存会
佐賀	特定非営利活動法人 浜街交流ネット唐津

子どもの健全育成活動

青森	チーム紺 ～つむぎ～	富山	いみずユニバーサルビーチプロジェクト
岩手	特定非営利活動法人 青少年未来プロジェクト		笑顔のこども食堂ネットワーク－GOHAN－
	網地島ふるさと楽好	石川	学園台みんな食堂
	ニコニコ農育ふあーむ・食農育くらぶ		特定非営利活動法人 クラブぽっと
宮城	みやぎ・とめ食育Labo	愛知	特定非営利活動法人 子ども&まちネット
	一般社団法人 フアブリハ・ネットワーク	三重	みらいへのいっぽ なかよし食堂
茨城	古河こりりんプレーパーク		障害や病気を持つ子供達とその家族のための素敵空間 はあとくらぶ
栃木	特定非営利活動法人 栃木県こども応援ないろ	京都	inote+P
群馬	ヒカリへ		NPO法人 サードプレイス
埼玉	一般社団法人 地域公益推進機構 こそだて支援 comono	大阪	月ノヒカリ 日本アラジール症候群の会
千葉	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス実行委員	兵庫	神戸みらい学習室
	外国ルーツの子ども達を支援する荻窪の会	広島	特定非営利活動法人 ひろしま自然学校
東京	特定非営利活動法人 フリースペースロビンソン こども食堂せかい	愛媛	NPO法人 アジアキッズケア 子育て応援団 あい♡いく
神奈川	特定非営利活動法人 バンブーまなび塾 一般社団法人 Miraie「ミライのたいよう」	高知	こども食堂かもだ実行委員会
		福岡	085 no mikata ~親子の味方~
山梨	ぐんないや 一織 syoku一	鹿児島	きりしまにほんごきょうしつ

ESG運用の実施

当会では、環境を含む企業の社会的責任に配慮した資産運用を行うことに努めています。

2024年度はグリーンボンドおよびソーシャルボンドを取得しました。



さまざまな支援の取り組み

社会福祉団体への支援

1981年より「障がい者」「高齢者」「災害対策」を対象とした支援活動を行っている社会福祉法人などの団体を継続して支援しています。

2024年度も外部有識者などによる審査委員会にて下表の20団体を選定し助成金を交付しました。



団体名	事業名
① 社会福祉法人 中央共同募金会	「地域共生社会」の実現を目指した、新たな助成・寄付プログラム開発推進事業
② 学校法人 日本社会事業大学	日本社会事業大学専門職大学院 福祉実践フォーラム 「災害ソーシャルワークの未来～災害時支援の連携協働と平時のあり方を考える～」
③ 社会福祉法人 日本視覚障害者職能開発センター	ロービジョンの就労・継続をテーマとした全国セミナーの開催事業
④ 社会福祉法人 日本点字図書館	視覚障害者の情報収集支援事業
⑤ 公益財団法人 テクノエイド協会	肢体不自由児の日常生活支援に役立つ福祉用具普及事業
⑥ 一般財団法人 全日本ろうあ連盟	世界ろう連盟中間会議への役員派遣及び国内共有、日本のろう運動についての国際的な啓発活動
⑦ 社会福祉法人 全国盲ろう者協会	「全国盲ろう者大会」の開催
⑧ 社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	視覚障害リンクワーカーの養成研修カリキュラム作成事業
⑨ 社会福祉法人 日本盲人福祉委員会	近年における国際条約の締結、国際情勢の変化に伴う視覚障害者の生活環境の状況に関する国際調査
⑩ 社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会	視覚障害者への情報提供の充実を目指すための事業
⑪ 公益財団法人 日本パラスポーツ協会	パラスポーツの普及拡大事業
⑫ 社会福祉法人 日本介助犬協会	犬を介した障がい児者・被虐待児の支援における海外先進事業の国内導入・普及へ向けた基盤づくり
⑬ 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本	スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドスクール事業(学校連携プログラム)
⑭ 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター	視覚障害関連の実用書・啓発書(活字図書)のPDF化による情報提供事業
⑮ 一般社団法人 日本福祉用具供給協会	福祉用具専門相談員が知りたい補装具の制度とポイント作成事業
⑯ 一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会	介護サービス利用の人権擁護の観点からの虐待の防止、身体拘束禁止についての理解促進事業
⑰ 社会福祉法人 浴風会	日本の高齢者福祉100年物語～今まで、そしてこれから。～
⑱ 一般社団法人 日本介護支援専門員協会	認知症の人の生きがいづくりと地域共生社会実現に向けた普及促進事業
⑲ 特定非営利活動法人 日本障害者フライングディスク連盟	第26回全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会開催事業
⑳ 一般社団法人 シルバーサービス振興会	介護スキルの評価・OJT推進に資する、取組事例調査および事例集作成事業

発行

こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)
<https://www.zenrosai.coop/>

〒151-8571
 東京都渋谷区代々木2-12-10 本部 SDGs・ブランド戦略部



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

[2025年7月発行]
 90c25Z014 (DNP)